

セクハラ許さない
ジェンダー平等の福井へ
大きな一歩を



かねもと 幸枝 ゆきえ 日本共産党

不安ばかりの政治 一緒に変えましょう！

町を歩いて聞こえてくるのは、「年金が少ない」「お給料が上がらない」「この物価高、何とかしてほしい」の声です。

そんなとき、「セクハラ」を認め辞職した知事に、「期末手当325万円、6年で退職金6000万円、満額支給」とは。こんなこと、納得できますか。

「セクハラ」は、被害者の尊厳を傷つける一種の暴力です。決してうやむやにしてはいけない。

背景にあるのは女性差別です。女性の給料は正社員でも、国家資格のある看護師、保育士、

介護の現場で働く人も安く抑えられ、非正規雇用の方はなおさらです。男性の正社員との比較で、女性の受け取る生涯の賃金は1億円も少ないのです。

働く女性は、帰宅したら、主として家事、育児、介護まで担う。しかし現役時代の収入の少なさが、年金額の低さに連動し、高齢女性の「貧困」につながります。

こんな悔しい話はありません。

男女の賃金格差の解消や、非正規雇用の待遇改善にとり組みます。女性が生きやすい社会は、みんなも生きやすい。ぜひ一緒に、声を上げ、変えていきましょう。

福井民主新聞

2025年12月号外

発行 日本共産党福井県委員会
福井市二の宮5丁目7-25 0776-27-3800

プロフィール 1958年坂井市生まれ。福井大学卒。永平寺町在住。党県書記長。原子力に反対する県民会議常任幹事。原水爆禁止福井県協議会常任理事。趣味は散歩、映画鑑賞。

Together!
Join us!

不安ばかりの政治

もう変えないと！
一緒に声をあげましょう



性暴力のない社会を求めてフラワーデモ。
「ジェンダー平等社会」をめざします。



毎週月曜日の朝 さとう正雄 前
県議(右)とJR福井駅西口で街頭宣伝
総選挙に初挑戦以来37年続けています



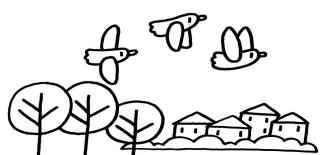
「乾式貯蔵施設設置を認めないで」と県議会に陳情書を提出。(右から2人目は、さとう前県議)



日本の食料自給率は38%。ここまで落ち込んだ農業を、さらにいじめる政治は許せません。(金元家の水田で)



「戦争する国づくり反対！福井総がかりアクション」のみなさんと一緒に「大軍拡反対」と永平寺町で宣言。



前知事のセクハラ問題を通して、県政と県議会が、「なあなあ」の関係になっていたことが鮮明となりました。県職員による「カラ出張」の徹底追及、原発マネーに搖るがない「原発ゼロ」の要求など、「県民が主人公」をつらぬく日本共産党の私さとう正雄が、県議会に人権意識と健全な緊張感を取り戻します。



さとう正雄

日本共産党福井県委員会は知事選挙の候補者を発表しました。
知事選に臨む基本政策とあわせて紹介します。